



Performance & Sports Trike



Assembly Instructions

組立説明書

KMX 部分詳細

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 1 ペダル | 11 リアパーキングブレーキ | 21 リアディレーラー |
| 2 クランク | 12 シート | 22 メインフレーム |
| 3 フロントブーム | 13 シートクランプ | 23 フラッグホルダー |
| 4 フロントブームクランプ | 14 チェーン | 24 フロントチェーンリング |
| 5 フロントピボットボルト | 15 フロントホイールアクスル | 25 フロントディスクブレーキ |
| 6 ハンドル | 16 チェーンガイドブーリー | 26 リアディスクブレーキ |
| 7 フロントギアシフター | 17 チェーンチューブ | |
| 8 リアギアシフター | 18 リアホイール | |
| 9 フロントブレーキレバー | 19 フロントホイール | |
| 10 リアブレーキレバー | 20 リアフェンダー | |



KMX 組立手順

- 1 KMXの部品は最小限の箱に効率良く梱包されています。



その為、小さな部品等を紛失しない様に注意深く箱から取り出して下さい。

特に最も大きな部品のメインフレームは付属品に注意しながら取り出しましょう。

ワンポイント: この後の組立の際にフレーム下部及び床に傷が付かない様に大き目のダンボール等を床に敷いて作業の準備をして下さい。

* 適当なダンボールが無ければ梱包の箱を折畳む事でも代用できるでしょう。

- 2 メインフレームはハンドルを上に乗せ 床に置いてください。



左右のブレーキ・キャリパーを一旦、外します。

取付のボルトとワッシャーは紛失しない様にキャリパーに再度取付けておきましょう。

- 3 ハンドルの仮付け



ハンドルの固定金具は緩く 仮固定しておきます
最終的にはハンドル・バーを止める基部の切れ込みの長さまで挿し込みますが、この段階では切れ込みの半分程度で仮に固定しておきます。

4 左側タイロッドの組付け(右側は工場で組んでありますので参考にして下さい)

右側と同様にスペーサーを上側にプラスチックワッシャーをアームの下側にして、ボルトを通しナイロンナットを締め付けます。



5 後輪にクイック・リリース・シャフトを取り付け

クイック・リリース・シャフトのワッシャーやスプリング等の部品は袋から取り出した順番や方向で使用します。2個のスプリングは細くなっている方が内々に向き合っています。組み付けはそのスプリングの間に後輪が挟み込まれる様に配置されます。また、ロックレバーはブレーキ側になります。



6 後輪をフレームに取り付け

フレーム後端の下向きU溝に後輪シャフトの両端の段付き部がはまります。方向は進行方向の右がギア側で左がブレーキ側です。U溝の奥まではまったらロックレバーを回転しない様に軸と直線状に支えながら、右のローレット・ナットを締め込みフレームに当たるまで締めます。ロックレバーを軸と直角に倒すとシャフトは更に締込まれ、後輪は強固に固定されます。(要調整)



7 リア・ディレーラーを組み付け

チェーンをスプロケットの2段目位に掛けます。ディレーラーは止めネジ内側の変形ワッシャーのツメがフレーム基部の切り欠きにはまる様角度を取り、ディレーラーのネジを締め込んでいきます。この時、ねじ山をつぶさない様にディレーラーの角度に注意が必要です。



8 シートポストロッドの取り付け(矢印の部品)



シートポストロッド先端のネジを一旦外し、フレーム後端上部の穴に合わせて取り付けます。穴はフレーム進行方向右側は最も上の穴、左側は上より2番目の穴です。

* 輸入時、調整用ネジのねじ山が浅かった為、タップを立て直しています。最初軽く回り締め込んで行くと重くなり、緩み難い様に調整してあります。

9 シート本体の組み立



注意: 力を入れますので手を滑らせて怪我をしない様に注意しましょう。

シートフレームにシートパネルをネジ止めします。シートパネルは梱包時、平らな板状になっていますが、プラスチック板とウレタン及び表面の布の三層構造ですのでフレームの曲線に沿わせる時、強い力が必要です。【UP】と書かれたシールの部分がシート表面で且つ、シートポストパイプ側です。5M-12mmのボルトにワッシャーを通し表面ビス穴に挿入します。更に強く押し付けながらシートフレームのステー穴を通し、シートフレームの裏よりナイロンナットで締め付けます。

10 シートをメインフレームに取り付ける



10' シート角度の固定



シートフレーム下側のステーに仮止めされたビスとプラスチック・インシュレーター及びナイロンナットを外します。

シートをメインフレームに置き、シートポストロッドをシート側のシートポストパイプに左右同時に挿入します。

シートを前後に動かしシートフレーム下側のステーの穴がメインフレームの穴と一致する位置にあわせてください。

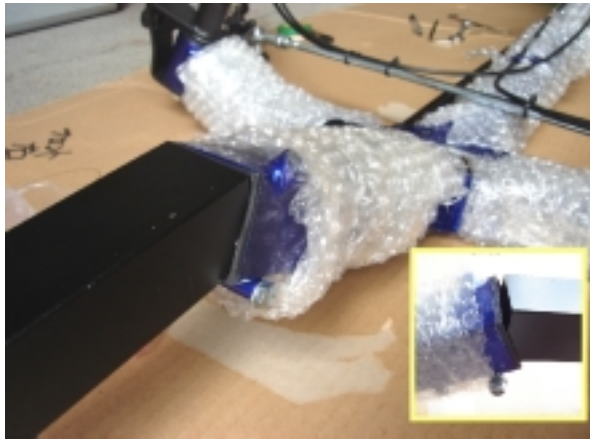
プラスチック・インシュレーターをステーとフレームの間に挟み、チェーンパイプ側よりワッシャーを通したビスを差込みます。

反対側もプラスチック・インシュレーターを挟みビスを貫通させ、ワッシャーを通した後ナイロンナットで締め込みます。

この状態でシートは手動で角度を調整できます。

付属のアルミ製ローレット・ネジ(小)でシート角度を固定できます。

11 フロントブームをメインフレームに組み付ける



フロントブームを地面に平行にメインフレームの開口部内側に押し当てます。そのまま下向きに押す様に力を加減しながら、徐々にメインフレームと平行になる様に角度を変え、開口部に挿入します。

重要：最初は固いかも知れませんが油脂等は絶対に付けないでください。



12 前輪・アクスルシャフトの取り付け



アクスル・シャフトの両端のネジは太さが違います。細い方を車体ナックルアームに挿し込み17mmのナイロンナットで固定します。この時、反対側の先端に5mmの六角レンチを挿し、シャフトの回転を抑え強く締め込みます。

重要：シャフトはプライヤー等で掴まないで下さい。シャフトに傷が付くとホイールが入れ難くなります。
(非常に高い精度の必要な部分です)

13 前輪の左右の確認



前輪は左右が決められています。ディスクブレーキのディスクに回転方向を示す矢印が刻印されていますので、車体が前進した時の回転方向に合わせて下さい。
* リムに○シールで【R】、【L】が書いてありますのでこれも参考になります。

* お好みによりタイヤを交換する場合も回転方向が指定されている物があります。ブレーキディスクの方向に合わせて下さい。

14 ホイールの組み付け



ブレーキディスクを内側にして、アクスルシャフトにホイールを付けてください。いっぱいまで入ったらワッシャーを入れホイールナット(ナイロンナット)を手で締め込んでください。

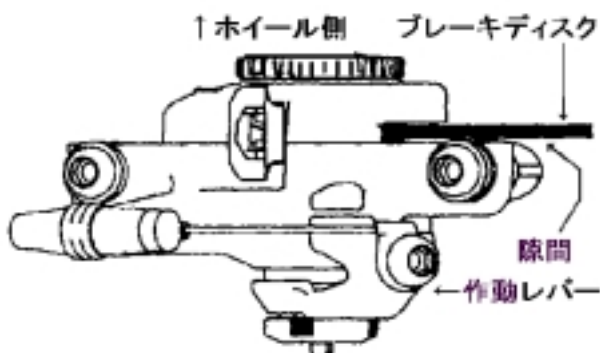
15 ホイールナット(ナイロンナット)の締め付け



ホイールナットは一気に締めないで下さい。ホイールの左右へのアソビを確認しながら少しずつ締めてください。ホイールの左右へのアソビが無くなった所から少し(10度程度)まし締めします。ホイールを手で回し、軽く回転し、異音が無い事を確認します。

重要: ホイール内部のベアリングスペーサはプラスチックで作られていますので、強く締め過ぎるとベアリングに過大なストレスがストレスが掛かります。ホイールを回転させた時、ゴリゴリと言った感触と異音が生じ、回転が永く続きませんので調整し直して下さい。

16 ブレーキキャリパーの組み付け



ブレーキキャリパーの基台(インターナショナルA規格)は付属の六角レンチで締め付けます。次にキャリパー部の位置を決め六角レンチで固定します。

調整: キャリパーはディスクに対し、間隔と角度を調整できます。最も簡単な方法は固定ネジを緩めた状態で右図の「隙間」の部分にコピー紙の紙片を挿し込みキャリパーを軽くディスクに押し当て固定ネジを締めます。強く押すとディスクがたわみ、正しい間隔が出ませんので力加減が重要です。

ワンポイント: ブレーキ調整は日常の点検でも必要 且つ、重要項目です。ご自身で完全な調整ができる様、研究してください。 また、効き具合の調整はワイヤーの引き代の調整では無く、ディスクパッドの出し代での調整が基本です。(AVIDの場合はダイヤル、その他は六角レンチ)

17 その他、部品の取り付け等1



ベノム、パイパー及びコブラにはフロントにも変速機が付いています。ワイヤーはフレーム左前の丸管に通し、フロントブームの下より長穴から上に貫通し、フロントディレラーの直下に出します。フロントブーム貫通部にはエルボが使用されます。

貫通したワイヤーはフロントディレラーに接続します。

左図で赤色矢印がワイヤーラインを示します。

左図で黄色矢印はフロントブームを固定するローレットネジ(大)です。身長に応じて調整後固定してください。

18 その他、部品の取り付け等2



リアフェンダー、リフレクターを取付けて標準的組立はほぼ完了です。



19 その他、部品の取り付け等3



公道では必ずフラッグを立てて走行してください。フラッグスタンドは左図のようにリアのクイックリリースハブシャフトに共締めする仕様ですが、不安な場合はUボルト等でシートパイプ等に固定してください。

注意: Uボルトは強く締め込み過ぎると、パイプが変形してしまいますので、力加減にご注意ください。

以上でKMXkartsの組立が完了しました。

しかし、チェーンの長さの調整、変速機の調整 及び ブレーキの調整が完璧で無いと本来の性能? 完全には楽しめません。これらの調整は一般的な二輪のスポーツ車と同様ですので、ココでは説明を省略させていただきます。

お問合せ先:

〒430-0853

静岡県浜松市南区三島町998番地 (有)アーテック

ケイエムエックス・カーツ ジャパン

www.kmxjp.com mail: info@kmxjp.com 電話:053-443-1147 FAX:053-444-0315